

地域資料個票一覧

2023/06/21 16:47:44

清澤渕資料

【 資料群: 9999009 清澤渕資料】

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
1	昭和17	1942	暗黒日記(1942年12月9日～9月28日)			書籍	193×134×29mm 日本評論社・昭和10年日記・定価1円を使用
2	昭和18	1943	暗黒日記(1943年10月1日～1944年7月9日)			書籍	193×134×33mm 日本評論社・昭和13年日記・定価1円20銭ものを使用
3	昭和19	1944	暗黒日記(1944年7月10日～1945年7月9日)			書籍	193×134×34mm 日本評論社・昭和11年日記・非売品のものを使用
4	昭和20	1945	暗黒日記(合本、1945年3月21日～4月22日・4月23日～5月5日)			冊子	264×189×22mm チヨダノート2冊を製本
5	大正14	1925	著作『米国の研究』(校正用、書き込み 清澤渕 有り)	日本評論社		書籍	函背なし・損傷多し・背表紙セロテープ止め アメリカの政治・外交・経済・社会・直筆校正 定価1円80銭 198×137mm 282ページ
6	昭和元	1926	著作『モダンガール』	清澤渕 金星堂発行		書籍	家庭や社会における婦人問題をまとめている。女性の社会進出を進めることを説く。定価1円30銭 清澤渕選集1収録(山本義彦編・日本図書センター・1998年7月25日) 218ページ
7	昭和3	1928	著書『黒潮に聴く』	清澤渕 萬里閣書房発行		書籍	太平洋の諸問題を扱う書(日米英中ソの外交政策)、日本の軍備撤廃までも説いている。定価2円80銭 清澤渕選集2収録(山本義彦編、日本図書センター、1998年7月2日) 605ページ
8	昭和4	1929	著作『自由日本を漁る』	博文堂出版部発行		書籍	190×137mm 556ページ 1929年5月5日発行・10月15日5版 表紙カバーなし 時局エッセイ集、張作霖爆殺事件を日本でのっちあげでないと逆説的に批判、共産党弾圧批判。定価1円80銭 清澤渕選集3収録(山本義彦編・日本図書センター・1998年7月25日)

121 人物

番号	年月日	西暦 資料名	出所	宛所	形態	備考
9	昭和5	1930 著作『巨人を語る』	清澤渕	三省堂発行	書籍	185×128mm 330ページ 世界の政治家・企業家など、過去から現在までの偉人伝 定価1円20銭 カバーなし 表紙装丁破損
10	昭和6	1931 著作『フォード』	清澤渕	三省堂発行	書籍	200×140mm 312ページ 函あり フォードの伝記・企業の発達史 定価1円50銭 特価75銭
11	昭和6	1931 著作『不安世界の大通り』	清澤渕	千倉書房発行	書籍	191×132mm 397ページ 1931年4月20日発行・5月15日七版 背表紙破れ 欧米の紀行文・ロンドン軍縮会議の感想 定価1円50銭
12	昭和7	1932 著作『アメリカは日本と戦はず』	清澤渕	千倉書房発行	書籍	192×135mm 374ページ 日米の戦争論が時局的に流行していた当時の戦争論。結論として日米開戦は無いとしていた。定価1円50銭 清澤渕選集1収録(山本義彦編・日本図書センター・1998年7月25日)
13	昭和8	1933 著者『非常日本への直言』	清澤渕	千倉書房発行	書籍	192×134mm 414ページ 背表紙破損 世界の紀行文の形式で時事を語る。前書きはこどもへのメッセージとなっている。定価1円50銭 清澤渕選集4収録(山本義彦編・日本図書センター、1998年7月25日)
14	昭和8	1933 著作『革命期のアメリカ経済』	清澤渕	千倉書房発行	書籍	192×136mm 440ページ 背表紙破れ ルーズベルトのニューディール政策についての批判と検証 定価1円50銭
15	昭和9	1934 著者『激動期に生く』	清澤渕	千倉書房発行	書籍	190×134mm 400ページ 背表紙焼け 高齢化進む政界批判・海外での日本の評判など時事問題・五一五事件・松岡全権批判 定価1円50銭
16	昭和8	1933 著作『亞細亞モンロー主義』	モカンド著	清澤渕訳 千倉書房発行	書籍	定価1円50銭 背表紙破れ・カバーなし・下部青インク染まり アメリカでフィリピン独立を訴えたモカンドの著書の和訳

121 人物

番号	年月日	西暦 資料名	出所	宛所	形態	備考
17	昭和10	1935 著書『現代日本論』	清澤渕 千倉書房発行		書籍	194×136mm 378ページ 背表紙カバー著しく日焼け 定価1円50銭 清澤渕選集5収録(山本義彦編・日本図書センター・1998年7月25日) 当時の政治家論(近衛文麿・広田弘毅ら)・政治状況・国際問題批判
18	昭和11	1936 著書『時代・生活・思想』	清澤渕 千倉書房発行		書籍	190×134mm 477ページ カバー背表紙破れ 思想編・社会編・人物編・国際編・生活編からなる。言論の不自由な社会状況を憂う。定価1円50銭
19	昭和11	1936 著書『極東の危機』(The Far Eastern Crisis)(中央公論付録)	アメリカ前国務長官スチムソン著 清澤渕訳 中央公論社発行		書籍	185×127mm 264ページ 裏表紙装丁不良
20	昭和12	1937 著作『ソ連の現状とその批判』	清澤渕 東洋経済新報社		書籍	ヒトラー、アンドレ・ジッド、トロツキー、ウェップによるソ連批判の紹介と清澤の解釈。 187×127mm 129ページ 定価50銭
21	昭和13	1938 著書『現代世界通信』	清澤渕 中央公論社		書籍	函あり 197×141mm 519ページ ヨーロッパ各国の政治状況・紀行文 定価1円80銭
22	昭和15	1940 著書『第二次欧州大戦の研究』	清澤渕 東洋経済出版部発行		書籍	196×140mm 456ページ 函あり 慶應義塾での講義をまとめたもの。 1940年頃のヨーロッパ情勢(ドイツ・イタリアを中心に) 定価2円80銭 清澤渕選集5収録(山本義彦編・日本図書センター1998年7月2日)
23	昭和17	1942 著作『国民学術境界叢書 外政家としての大久保利通』	清澤渕 中央公論社		書籍	219×160mm 263ページ 函あり 定価2円50銭 清澤渕選集7収録(山本義彦編・日本図書センター・1998年7月2日)
24	昭和17	1942 著書『日本外交史』上巻・下巻	清澤渕 東洋経済新報社発行		書籍	函あり 2冊同封 下巻装丁破損 220×160mm 674ページ 開国から大東亜戦争までの通史 定価6円80銭 清澤渕選集8収録(山本義彦編・日本図書センター 1998年7月25日)
25	昭和30	1955 『日本外交年表並主要文章』1840—1945(上)	外務省編 日本国際連合協会発行		書籍	定価900円 223×165×42mm 函あり 開国(1853)からワシントン会議(1921)まで・年表と外交文書

121 人物

番号	年月日	西暦 資料名	出所	宛所	形態	備考
26	昭和30	1955 『日本外交年表並主要文章』1840—1945(下)	外務省編 日本国際連合協会発行		書籍	220×166×44mm 函あり ワシントン会議(1921)から敗戦(1945)まで 定価1,000円
27	昭和16	1941 著作『現代日本文明史3 外交史』	清澤渕 東洋経済新報社発行		書籍	302×166mm 578ページ 函あり カビ付着 幕末から日独伊三国同盟までの通史 定価3円20銭
28	昭和10	1935 著作『世界再分割時代』	清澤渕 千倉書房発行		書籍	193×132mm 452ページ 背表紙上部破損 植民地の争奪について 帝国主義の歴史 日本のとるべき方針 定価1円50銭
29	昭和元	1926 『旋風』(清澤渕「東へ」)	朝日新聞社発行		書籍	189×133mm 287ページ 朝日新聞社のアサヒグラフに掲載された26人の文筆人による連作小説集。画も画家でない者による作品が挿絵として添えられている。清澤の小説の挿絵は高村貞夫が描いている。定価1円80銭
30-31	昭和20	1945 著書『戦後世界秩序私案(桑港会議の議題「国際連合」の紹介と批判)』2冊	清澤渕 東洋経済新報より採録		冊子	207×152mm 19ページ ダンバトン・オーラス会議(1944年8月～10月)で作成された「国際連合憲章」原案を紹介。サンフランシスコ会議(1945年4月～6月)の議題となった同原案をもとに、清澤の私案をまとめている。小林一三に依頼し清澤の死後に完成したもの。
32	昭和11	1936 著書「天然資源の再配分 太平洋問題の解決法」(Redistribution of Natural Resources of Pacific Problem)(『国際評論』1936年1月)	清澤渕		冊子	220×151mm 19ページ 英文「Retsu K.Kiyosawa」と署名あり
33	昭和11	1936 著書『自由主義とは何か』	東洋経済新聞社(戸坂潤・清澤渕・加田哲二・大島豊・室伏高信・赤松克磨・蝦山政道・長谷川如是閑・石橋湛山らによる対談)		書籍	ほかに杉森孝次郎・今中次麿・石井満 187×129mm 220ページ 自由主義・ファンズムなど時局について 定価50銭
34	昭和11	1936 著書『現代日本論』(中国語訳)	清澤渕 菊冬青訳 北新書局広州分局発行		冊子	187×130mm 142ページ 背表紙下部破損・表紙左上破れ 定価国幣5角

121 人物

番号	年月日	西暦 資料名	出所	宛所	形態	備考
35	昭和11	1936 著書『ファッショは何故に生まれたか』	清澤渕 東洋経済出版部		書籍	187×129mm 78ページ 表紙カバーなし 裏表紙に千倉書房の標章などがあるため、別の冊子のカバーをかけていると思われる ドイツ・イタリアのファシズムについて 日本のファシズムについて 東洋経済パンフレット 第14輯
36	昭和12	1937 著書『女性時局読本(混沌たる時局の一切がてにとる様にわかる)』(「婦人公論」3月号付録)	清澤渕 中央公論社発行		冊子	222×149mm 144ページ 表紙と本体が分離 本誌とともに定価60銭
37	昭和10	1935 著書『混迷時代の生活態度(理智は克つ)』	清澤渕 千倉書房発行		書籍	190×135mm 318ページ 背表紙日焼け(判読不明) 右傾化する日本の現状に対し、理性的に生きることの大切さを説いている。身近な社会問題から国際問題まで平易な文章でまとめられている。 定価1円50銭
38	明治39	1906 『天頬』 第2巻第3号(研成義塾同窓生の雑誌)			冊子	ガリ版刷
39	明治41	1908 アルバム(写真類)1			写真	
40		アルバム(写真類)2(資料コピー等混入、清澤渕本人の写真多数)			写真	
41		アルバム(写真類)3(清澤渕本人写真多数)			写真	
42	大正14	1925 スクラップブック(新聞記事の収集、1925年~1938年)			その他	
43		旋風帖(「旋風」に掲載された挿絵の寄せ書き集)			その他	241×170mm 31ページ
44		写真 張作霖 原稿			写真	390×320mm 張作霖のポートレート 「清澤渕先生恵存 張作霖」と記されている。奉天永清照像館の台紙
45	昭和18	1943 寄せ書 I (1943年4月15日~1943年10月)	馬場恒吾・小林一三・文史朗らによる寄せ書き		書籍	223×157×26mm
46	昭和12	1937 寄せ書 II			書籍	268×210×26mm
47		原稿(4編「会議への招請まで」、「日英同盟と役割」、「対支問題の経緯」・バラ「peace and war」)			綴	186×256×80mm

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
48-49	昭和5	1930	ロンドン会議プレスカード(2枚、中央公論特派員として取材)			紙	①89×114mm B45と青鉛筆書き Retsu Kiyosawa Cho Koron② 102×64mm 二つ折り Monsieur Retsu Kiyosawa Cho Koron
50	大正14	1925	パスポート			その他	
51	昭和5	1930	ロンドン軍縮会議のレセプションメニュー(暗黒日誌の新聞廣告・吉田茂書簡の解説文書・1940年3月ゴルフ雑誌の切り抜き挿入)			冊子	266×197mm
52	大正2	1913	観光写真帖(カリフォルニア州タコマ市 日米用達会社発行 移民の日本訪問団の写真アルバム)			綴	226×155×9mm 装丁破損 定価1円 清澤冽タコマ支社主任の名刺が内表紙に貼付
53	昭和14	1939	吉田茂からの書簡(1939年12月19日)	吉田茂	清澤冽	封筒	192×700mm
54	昭和14	1939	吉田茂からの書簡(1939年12月8日)	吉田茂	清澤冽	封筒	
55	昭和14	1939	吉田茂からの書簡(1939年12月10日)	吉田茂	清澤冽	封筒	
56	昭和14	1939	吉田茂からの書簡(1939年12月15日)	吉田茂	清澤冽	封筒	192×740mm
57	昭和14	1939	吉田茂からの書簡(1939年12月19日)	吉田茂	清澤冽	封筒	192×510mm
58	昭和15	1940	吉田茂からの書簡(1940年2月2日)	吉田茂	清澤冽	封筒	192×820mm
59	昭和7	1932	吉田茂からの書簡(1932年5月23日)	吉田茂	清澤冽	封筒	197×585mm
60	—		吉田茂からの書簡(11月27日)	吉田茂	清澤冽	封筒	180×580mm
61			吉田茂からの書簡(1月16日)	吉田茂	清澤冽	封筒	
62	昭和18	1943	若槻禮次郎からの書簡(1943年7月15日)	若槻禮次郎	清澤冽	封筒	193×553mm
63	昭和17	1942	芦田均からの書簡(1942年6月20日)	芦田均	清澤冽	封筒	
64	昭和16	1941	芦田均からの書簡(1941年7月17日)	芦田均	清澤冽	封筒	
65	昭和19	1944	芦田均からの書簡(1944年6月17日)	芦田均	清澤冽	封筒	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
66	昭和18	1943	幣原喜重郎からの書簡(1943年2月9日)	幣原喜重郎	清澤冽	封筒	200×1105mm
67	昭和18	1943	幣原喜重郎からの書簡(1943年2月4日)	幣原喜重郎	清澤冽	封筒	190×860mm
68			幣原喜重郎からの書簡(3月27日)	幣原喜重郎	清澤冽	封筒	190×860mm
69	昭和18	1943	幣原喜重郎からの書簡(1943年7月16日)	幣原喜重郎	清澤冽	封筒	195×1140mm
70	昭和15	1940	牧野伸顕からの書簡(1940年7月18日)	牧野伸顕	清澤冽	封筒	200×474mm
71	昭和17	1942	牧野伸顕からの書簡(1942年5月2日)	牧野伸顕	清澤冽	封筒	190×510mm
72	昭和18	1943	牧野伸顕からの書簡(1943年1月8日)	牧野伸顕	清澤冽	封筒	189×372mm
73	昭和17	1942	小林一三からの書簡(1942年7月1日)	小林一三	清澤冽	封筒	177×512mm
74	昭和17	1942	小林一三からの書簡(1942年9月4日)	小林一三	清澤冽	封筒	179×437mm
75	昭和17	1942	小林一三からの書簡(1942年12月10日)	小林一三	清澤冽	封筒	
76			小林一三からの書簡(7月12日)	小林一三	清澤冽	封筒	
77			小林一三からの書簡(8月7日)	小林一三	清澤冽	封筒	
78	昭和17	1942	小林一三からの書簡(1942年7月21日)	小林一三	清澤冽	封筒	
79	昭和18	1943	近藤浩一路からの書簡(1943年7月10日)	近藤浩一路	清澤冽	封筒	178×1265mm
80	昭和18	1943	近藤浩一路からの書簡(1943年7月27日)	近藤浩一路	清澤冽	封筒	192×950mm
81	昭和20	1945	石橋湛山からの書簡(1945年7月14日)	石橋湛山	清澤綾子	封筒	
82	昭和20	1945	石橋湛山からの書簡(1945年9月19日)	石橋湛山	清澤綾子	封筒	
83	昭和20	1945	石橋梅からの書簡(1945年9月19日)	石橋梅	清澤綾子	封筒	
84	昭和20	1945	嶋中雄作からの書簡(1945年7月12日)	嶋中雄作	清澤綾子	封筒	
85	昭和20	1945	津田左右吉からの書簡(1945年5月30日)	津田左右吉	清澤冽遺族	封筒	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
86	昭和18	1943	松平恒雄からの書簡(1943年8月31日)	松平恒雄	清澤渕	封筒	195×695mm
87	昭和9	1934	講演集「講演」259号(『現代ジャーナリズム批判』1934年7月10日)	東京講演会		冊子	定価40銭 昭和9年5月18日早稲田大学大隈講堂(主催早稲田大学出版研究会) 現代ジャーナリズムの批判 222×51mm 28ページ
88-92	昭和10	1935	講演集「講演」285号(『支那の対日真意を打診する』1935年3月30日)	東京講演会		冊子	定価40銭 昭和10年3月15日霞山会館(東亜同文会主催) 151×221mm 40ページ 5冊あり
93	昭和10	1935	講演集「講演」295号(『自由主義と其の批判』1935年7月10日)	東京講演会		冊子	定価40銭 藤沢親雄・清澤渕・戸坂潤の三者の講演 清澤は左右両翼による暴力革命に反対した。 151×221mm 56ページ
94	昭和11	1936	講演集「講演」329号(『植民地再分割と日本の前途』1936年6月20日)	東京講演会		冊子	昭和11年5月30日青山学院(主催日本国際協会青山学院支部) 151×221mm 40ページ 定価40銭
95-99	昭和10	1935	講演集「講演」330号(『現代政治家は斯く要求す』1935年6月30日)	東京講演会		冊子	昭和11年6月20日経済俱楽部(主催東京講演会) 7人の政治家との討論会 151×221mm 40ページ 5冊あり 定価40銭
100-103	昭和14	1939	講演集「講演」446号(『第二次世界大戦と国際情勢』1939年9月20日)	東京講演会		冊子	昭和14年9月13日火災保険俱楽部 短期に終わるか・長期に終わるか・勝利はいずれに・ドイツの有利不利・支那事変に対する影響 定価40銭 148×221mm 32ページ 4冊あり
104-105	昭和12	1937	講演集「世界思想家のソビエト批判の紹介 清澤渕 昭和12年6月発行 経済俱楽部講演」(「我が国の液体燃料資源に就いて 植村発已」)	東洋経済出版部		冊子	非売品 ソビエト批判紹介・ヒトラー、トルツキー、シドニー ウェップ・アンドレジッドのソビエト連邦批判 1937年5月28日経済俱楽部定例午餐会においての講演 188×128mm 60ページ 2冊あり
106-108	昭和16	1941	講演集「日本外交の特質 清澤渕 昭和16年6月発行 経済俱楽部講演」(「最近支那の真相と南洋発展 神田正雄」)	東洋経済新報社		冊子	非売品 外交とは何か 開国から・三国干渉までの外交史 昭和16年5月2日経済俱楽部(東京)での講演録 185×126mm 50ページ 3冊あり

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
109	昭和14	1939	講演集「歐州大戦の動向と事変の収拾」(1939年10月5日日本橋俱楽部)	日本講演通信社		冊子	定価10銭 185×126mm 44ページ ドイツ・イタリアの動向 日本の行方 「アメリカも気が荒くなっているから日本の出方によっては太平洋に風波が立たないとの限らない」と講演 昭和14年10月 講演通信
110-111	昭和16	1941	講演集「太平洋を繞る日米蘇関係鼎談会」(清澤渕・角谷健次・岡野隆一の鼎談 1941年3月15日)	日本講演通信社		冊子	定価20銭 184×124mm 47ページ 2冊あり
112	昭和13	1938	講演集「ラジオ講演講座52 欧米婦人の印象」(1938年10月25日)	日本放送出版協会		冊子	定価10銭 219×145mm 48ページ 1938年10月3日AKより放送 日本の婦人ほど自分を犠牲にして夫と子どもと家庭のために働く女性は世界のどこに行っても無い
113	昭和14	1939	ラジオ講演講座65(1939年3月5日)	日本放送出版協会		冊子	定価10銭 220×147mm 48ページ
114	昭和14	1939	講演集「当面日本の全面的分析」(1939年4月1日)	中央公論4月号特別付録		冊子	定価1円30銭 144×100mm 190ページ 背表紙破損 4者による講演集 「事変外交」芦田均 「国内政治」木原道雄 「財政経済」太田正孝 「世界情勢」清澤渕
115			講演案内チラシ「歐州政局の動向と極東問題 清澤渕」			紙	
116-117	昭和10	1935	講演の友 第90号12月上旬号(1935年12月1日)	講演の友社		冊子	定価10銭 演題「ムッソリーニと語って二十分」185×126mm 94ページ 2冊あり
119	昭和7	1932	講演集「旬刊講演集 大統領選挙を中心とする米国政治情勢」(1932年11月20日 11月2日中央大学での講演)	東京講演同好会発行		冊子	定価1円30銭 188×128mm 48ページ
120	昭和8	1933	スクラップブック(新聞 1933年～1935年)			冊子	新聞に掲載された時事や清澤自身のコラム、記事
121			スクラップブック(英字新聞)			冊子	購読していた英字新聞のスクラップ記事
122	大正15	1926	スクラップブック(新聞 1926年6月16日～12月19日)			冊子	
123	昭和5	1930	スクラップブック(新聞 1930年2月11日～1933年11月3日)			冊子	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
124	昭和2	1927	スクラップブック(新聞 1927年1月5日～1930年7月)			冊子	
125	大正12	1923	スクラップブック(新聞 1923年11月10日～1926年)			冊子	
126	大正12	1923	スクラップブック(英字新聞 1923年10月～)			冊子	
127	昭和7	1932	スクラップブック(新聞 1932年11月14日～1933年5月2日)			冊子	
128	昭和13	1938	スクラップブック「清澤記事 1938年～1942年」(1938年7月25日～1942年12月10日)			冊子	
129	昭和8	1933	スクラップブック(新聞 説論 1933年2月3日～1939年1月29日)			冊子	
130			欧米は日本を如何に観て居るか(日本外交協会第268回例会 清澤渕講演要旨)			冊子	
131			世界を旅して(「人の一人を惜しみ物 の一つを惜しむ」所収)	清澤渕		冊子	
132			戦後世界秩序私案	清澤渕		冊子	
133-138			Redistribution of Natural Resources Solution of Pacific Problems	清澤渕		冊子	6冊あり